# 平成26年度大学生の力を活用した 集落復興支援事業活動報告会

### 飯舘村松川第一仮設住宅(福島市)

明治大学農学部農学科地域環境計画研究室 けいかくけん

### 飯舘村の概要



県内•••約6,120人

県外•••約480人

### 線量分布



### 震災前の村

地場産品、特産品

### 伝統行事 · 伝統芸能

「田植え踊り」や「獅舞・神楽」等 その他の年間行事 (新春村民のつどい、はやま湖駅伝競走、はやま湖森と湖まつり、いいた て夏まつり・秋まつり、山御講、民俗芸能発表会など)

など

### 震災後の村

### 3つの避難指示区域に指定

- 1.50 <年間積算線量(ミリシーベルト)
- →帰宅困難区域:立ち入り禁止。5年以上戻れない。
  - 2. 20≦年間積算線量≦50(ミリシーベルト)
- →居住制限区域:住む・泊る・店を開く行為は原則禁止。 立ち入りは自由。数年での帰還を目指す。
  - 3. 年間積算線量 < 20 (ミリシーベルト)
- →避難指示解除準備区域:住む・泊る行為は許可制。 立ち入りは自由。早期帰還を目指す。

### 調査の目的と方法

調査地

2014年7月19日(土)、20日(日)

調査場所

松川第一仮設住宅

調査方法

聞き取り調査

目的

帰村に向けて何がどのように障害に なっているかを明らかにする。

### 調查結果

### 仮設住民の声

- 「村に帰りたいが・・・」
- 「村がなくなるのでは」
- 「若者が帰ってこないのでは」
- 「稼ぎと生きがいを一致させた生活がしたい」





帰村後の生活や将来に対する不安 が大きい!

### 集落活性化案

現状

- 帰村後の不安
- 現在の帰村計画は「帰村開始」までの計画

課題

- 帰村後の生活支援
- 飯舘村存続のための若者(様々なジャンルで活躍できる)の確保

活性化案

・「未来に続く、今まで以上の生き生きとした飯舘 村にしていく」を目標に、**計画書の作成!** 

## 計画の内容

・他の行政区との交易

1. 計画の基本的な考え方

計画の詳細

(1)農村・農業

行政から住民に到し、

(2)コミュニティ形成

(他の行政区と復興 の足並みをそろえる 等についての情報見

(3)情報発信

(4)若者関係

計画の項目についての具体的な説

に関わらせる

の岩省を集める の場を提供)

- 総位支援 ペンチャー企業 の支援 -新規入村支援

3. 針面の項目についての具体的な設項

説明①「島常の再開」

「信義計画」内のスマートビレッジに直的した大規模な義連を整備、生産に参加

商業再落に 関する課題

〇みんなが帰るわけではない、体力的、コスト的な問題

・得意な作目(番茄、野菜、花卉など)がある人は、その作目におけるターダーとする

- リーダーはリーダー両士で関わり、他の農業に関わりたい人に技術を設える役割も担う
- ・直地の近くに集会所要作業所を聴致し、コミュニケーションや加工作業を行う
- 教え合う体制により技術を身につけることができる(若者への技術の伝承にもつながる)
- ・近くに集会所兼作業所を聴放することで、ネット販売、デザイナー。料理人などの若者が 問わることのできる場にもなる

・生面分野ごとに連携を超んで家畜業隊を肥料として利用するなど、物質循環を行う

### 説明①-1「公共の電気自動車タクシーの導入」

○スマートビレッジの直地までの移動手段

導入の効果

〇階級配慮

○「自給自足の計づくり」の基盤

〇併来的な観光資源

○観光・経済経濟の一助

導入の効果

○これからの農業・農材の在り方を示す



### 今後...

この計画書を基に、

仮設にお住まいの方と一緒に、 さらに計画を練り上げていきます



### お宝紹介

おいしい農作物

「までい」なつきあい

創

# 飯館村への郷土愛

かリレノフラデス

郷土料理

開拓の歴史

自然

# 飯舘村への郷土愛

# 宝!

この原動力を持った 松川仮設の人々

## 参考

▶ 飯舘村HP

http://www.vill.iitate.fukushima.jp/saigai/?p=6324

▶ 福島県市町村要覧

http://www.fksm.jp/youran/075647.html

▶ いいたて村までい企業組合

http://www.iitate-madei.com/village01.html

# ご清聴ありがとうございました